



shibokusanpon

一隅を照らそう
6月号

329号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



本年の六月四日は、天台宗の宗祖・伝教大師最澄（七六七～八二二）の没後一二〇〇年目となる大遠忌の祥当日。数々の記念事業はコロナ禍で中止を余儀なくされましたが、この日にあわせて全国の天台宗寺院で慶讃法要等が営まれます。

伝教大師一二〇〇年大遠忌

住職 中島 有淳

比叡山麓に生まれた少年・広野は、十二才で寺に入り、十四才で得度をして「最澄」という名を頂きました。東大寺で戒を受けた後、比叡山に登り、修行を続けました。そしてすべての人々が救われることを願い、「一乗止観院」を建て、自刻した薬師如来を安置。そのご宝前に、「仏の教えがいつまでも伝えられますように」と願って灯明を供え、詠まれました。

爾来、五十六才でご遷化に至るまで「三朝帝の国師にて、渡せる僧衆数百人、三千僧徒の常にすみ」とあり、皇室が伝教大師を頼り、多くの僧が慕い、比叡山が栄えたことが窺い知れます。

それから一二〇〇年。ご宝前に供えた灯明は「不滅の法灯」として現代まで途絶えることなく、比叡山は世界文化遺産となり、「一乗止観院」は「根本中堂」と姿を変え、現在大改修工事の真っ最中。今年の四月には、伝教大師の御廟・浄土院で、大師が今もおわすが如くお仕えする「十二年籠山行」を渡部光臣住職(48)が満行。大師の灯された法のものしびは、連綿と現在まで受け継がれています。

コロナ禍にあつて、大師の遺された「一隅を照らす」「我が志を述べよ」「道心の中に衣食あり」等の金言は、いつそう輝きを放ちます。ここで伝教大師による「山家學生式」と、亡くなる前に遺された「御遺誠」をご紹介します。

「山家學生式」

國寶とは何物ぞ、寶とは道心なり。道心ある人を名づけて國寶と為す。故に古人の言わく、徑寸十枚、是れ國寶に非ず、一隅を照らす、是れ則ち國寶なりと。
古哲また言わく、能く言いて行ふこと能わざるは國の師なり。能く行いて言うこと能わざるは國の用なり。能く行い能く言ふは國の寶なり。三品の内、唯言うこと能わず、行ふこと能わざるを、國の賊と為すと。云々。

「御遺誠」

怨みを以て怨みに報せば、怨み止まず、徳を以て怨みに報せば、怨み即ち盡く。長夜夢裏の事を恨む莫れ、法性真如の境を信す可し。我が爲に佛を作る勿れ、我が爲に經を寫す勿れ、我が志を述べよ。
道心の中に衣食有り、衣食の中に道心無し。
我れ生れて自り此の來、口に麈言無く、手に答罰せず。
今我が同法、童子を打たずんば、我が爲に大恩なり。
努力めよ、努力めよ。

折りふしのはな
たちあおい(立葵)



立葵の白やピンクの花が
梅雨空を彩ります
一番上の花が咲きますと

梅雨が明けると言われますが
今年はいつになるのでしょうか
(遊)

月例行事案内

- ◎八日 午後二時 薬師如来祈禱会 観音経読誦
 - ◎十二日 午後二時 智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
 - ◎十八日 午後二時 観音経読誦法要(於・神木観音堂)
 - ◎二十八日 午後二時 不動明王護摩供修行
- * 毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ
- どなたさまでも
ご参詣下さい
(マスクはご着用下さい)

伝教大師1200年大遠忌御祥当法要

<比叡山延暦寺>
6月3日(木)～5日(土)
法要はネット配信あり
(https://1200irori.jp/)

<等覚院>
6月4日(金)
6:00 「伝教大師和讃」 読誦
10:30 「報恩法要」 ネット配信
14:00 「御祥当日法要」 於・増福寺



「御朱印でめぐる
東急線沿線の寺社」(学研)
に当山が掲載されました

あとがき

〇ワクチン接種がやっと急ピッチに始まりました。「五輪」開催の是非とからめて論じられ、その決断も大詰めに。
〇そのウイルスは「48億年の地球全史を一年に圧縮すれば五月生まれ、人類は大みそかの夜11時37分に生まれたばかり」と。ウイルスは太古の時代から変異してきたと知ります。

〇クーデターで国軍が権力を握ったミャンマーは、混迷を深めています。スーチー氏の拘束からの解放は、当面望めない様子。「弾圧」という言葉に、おぞましさを感じます。

〇大相撲夏場所は大関照ノ富士(29)が二場所連続優勝。本割で貴景勝に敗れ三敗。決定戦で制しました。怪我で序二段まで落ちてからの返り咲きに、スゴイの一言。来場所は横綱に挑戦。

〇梅雨に入るとうっとうしい毎日でしょう。日本の気候も激しさを増しています。天候と人間も穏やかな毎日でありますように。

6/19(土)
「止観(坐禅)会」 9:30-10:30 残り5席
「法華経を読む会」 11:00-12:00 満席